

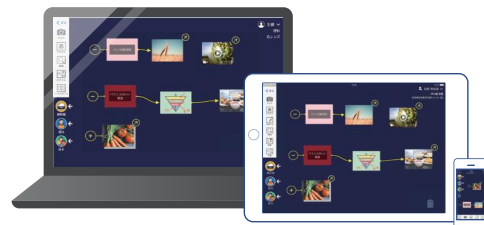
ロイロノート・スクールを使う準備から課題提出の方法まで説明します

① 準備をしよう！

【手順1】端末を用意する

インターネットと接続されているパソコン、タブレット、スマートフォンをご用意ください。

※Nintendo Switchなどのゲーム機ではご利用いただけません。



【手順2】ロイロノート・スクールを使えるようにする



iPad、iPhoneをご利用の方

App Storeで「ロイロノート・スクール」をインストールしてください。



Chromebook、macOS、Windows、Androidをご利用の方

1. Webブラウザ「Google Chrome」をインストールしてください。

2. 1でインストールしたブラウザから、<https://loionote.app> にアクセスしてください。

② ロイロノート・スクールにログインしよう！

学校から案内されたIDでログインする

ログインには次の3つの情報が必要です。

【学校ID・ユーザーID・パスワード】

1. 学校IDを入力します

2. ユーザーIDを入力します

3. パスワードを入力します

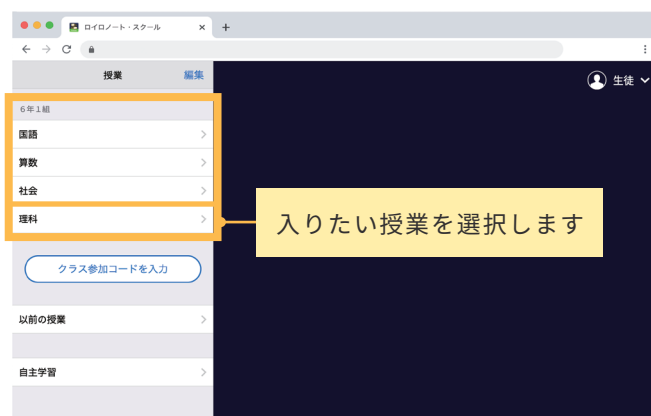
4. [ログイン]を押してください



③ 授業に入ろう！

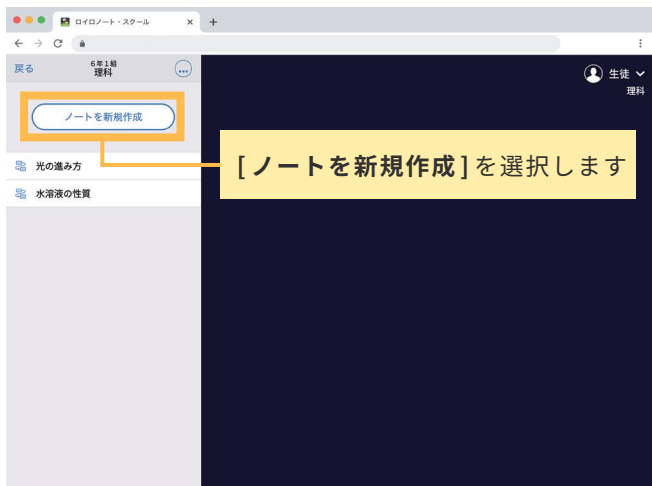
【手順1】授業を選択する

※学校からクラス参加コードが案内されている場合、[クラス参加コードを入力]ボタンを選択後、参加コードを入力してください。

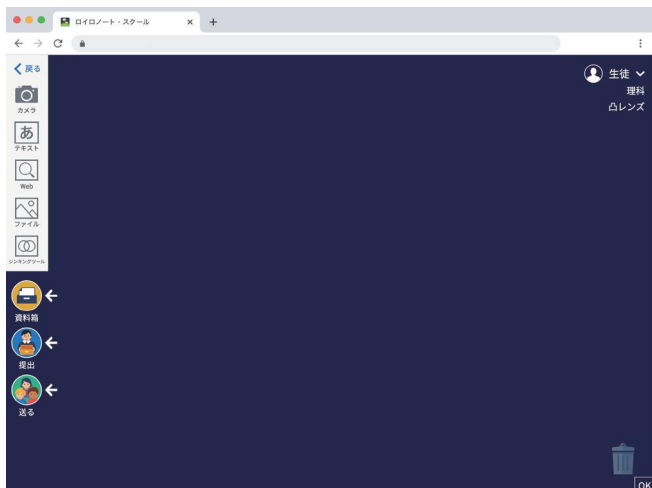


【手順2】ノートを作成する

[ノートを新規作成]を選択して、ノートの名前を入力してください。



このような画面になれば授業の参加は完了です。



④ カードをつくる

画面左側のツールバーのボタンを押すと、カードを作ることができます。
テキスト、画像、動画などさまざまなカードを作ってやりとりします。



パソコン、タブレット、スマートフォンのカメラを使って、写真や動画を撮影できます。



キーボードを使って、テキストを入力できます。
テキストの配置や大きさ、色を自由に変更できます。



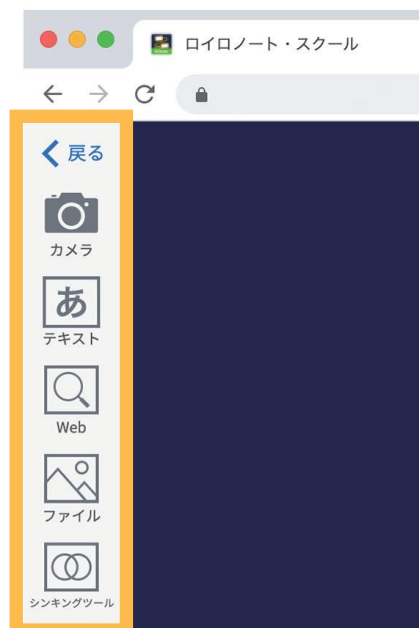
WebカードはブラウザとしてWebサイトの閲覧ができます。閲覧しているページの中の引用したい部分を画像として残すことができます。



パソコン、タブレット、スマートフォン本体に保存されているデータを取り込み、カードとしてそれらの資料を使うことができます。



シンキングツールは考えをつくり出す際、さまざまなアイデアを「比較」「分類」「構造化」したりするのに役立ちます。



⑤ 先生が送った資料を受け取る

先生が授業中に送ったカードは、[送る]ボタンから何度でも取り出すことができます。



1. [送る]ボタンを選択します。新しいカードを受信していると赤いマークが付きまます。
2. タイムラインに先生から送られた資料が表示されます。
3. 取り出したい資料を選択して、[使用する]を選択します。

[使用する]を選択します

取り出したい資料を選択します

⑥ 「資料箱」からカードを取り出す

先生が資料箱に置いたカードはいつでも取り出すことができます。



1. [資料箱]ボタンを選択します。
2. [資料箱]内のフォルダを選択します。
(先生からの資料は、「学校共有フォルダ」または青色のフォルダに入っています)
3. 使いたい資料を選択して、[使用する]を選択します。

資料を選択後、右上の[使用する]を選択します

フォルダを選択します

凸レンズは光を一点に集める
光軸に平行な光束はレンズの焦点に集まる

取り出した資料はカードとして表示されます。

送られてきた資料を、自分のノートに追加することができます

⑦ 先生に課題を「提出」する

作ったカードを先生へ提出しましょう。



1. 先生に提出するカードを[提出]ボタンの上にあります。
2. 提出先を選択します。

提出する「提出箱」を選択したら完了です

提出した内容は、[提出]ボタンから、提出箱を選択することで確認できます。

カードを先生や生徒へ送る

カードを先生や同じ授業へ参加している生徒に送ることができます。(※生徒同士で送るには、先生の許可が必要です。)

1. 送るカードを[送る]ボタンの上にあります。
2. カードの送り先を選択し、[送る]を選択します。

[送る]を選択します

さらに詳しく知りたいときは・・・

ロイロノート・スクール サポートページの「使い方マニュアル」を見てください。

このサポートページはロイロノート・スクールの画面上からも見ることができます。



画面右上の名前を押して、[サポート]を選択します

[使い方マニュアル]を選択します